



1. 《Pond Fantasy》1931年
2. 《Winding By》1929年
3. 《Snow Bound》制作年不詳
4. 《Sun Bath》制作年不詳
5. 《Just Arrived》1929年
6. 《Perpetual Motion》制作年不詳

河野浅八写真展 モノクロームの幻想

昭和初期に活躍した宇城市出身の写真家、河野浅八の作品をご紹介します。1876年熊本県宇土郡大見村(現宇城市不知火町大見)に生まれた河野は、20代で単身渡米し、ロサンゼルスで写真材料店を営みながら写真技術を学びました。写真展に出品するようになると、アメリカのみならず、イギリス、フランスなど各国の展覧会でも受賞を重ねます。当時のニューヨークタイムズ誌には、世界の写真家と並んで河野の作品が紹介されており、その華々しい受賞歴がうかがえます。なかでも、1932年、放射線状に広がる蓮を写した《Pond Fantasy》がイギリスのロイヤルサロンで第1席に選ばれ、高い評価を受けました。1934年に帰郷した後は、在熊の写真家に熱望されて後進の指導にあたり、66歳でその生涯を閉じました。

河野の写真は、整然とした画面の中にも明暗のグラデーションが非常に豊かで心象的な表現が伝わります。作品の多くは風景写真ですが、絶妙な構図に、光と影が生み出す形の面白さが加わり、どれも見る人を惹きつけてやみません。

今回の展覧会では、河野自身が焼き付けたオリジナルプリント約60点と、残されたネガをデジタル処理して仕上げた作品を展示します。

会期中のイベント

記念講演会

「私が見た不知火の浅八」

日時：4月27日(土) 13:30~

講師：小崎宇一氏(写真家)

町に寄贈された河野のネガフィルムのデジタル処理を担当。

場所：美術館アトリエ

定員：50名(事前申込不要) 参加無料

ワークショップ

「アート×サイエンス! 太陽の光で写真を撮ろう」

日時：4月29日(月・祝) 14:00~

5月18日(土) 14:00~

場所：美術館アトリエ

定員：15名(事前申込不要) 参加無料

※天候により内容が変更になる場合があります。

「ウチノコ」写真募集!

あなたのお家のペットの写真を美術館で自慢しませんか?

【募集期間】2019年4月2日~5月26日

【募集方法】プリントした写真(L判)とペットの名前、一言コメント、応募者の方のお名前(ペンネーム可)を記載の上、美術館宛に郵送するか、直接お持ち込み下さい。

※応募作品は郵送での返却はできません。美術館にて受け取り希望の方は終了後返却します。

宇城市不知火美術館

SHIRANUHI MUSEUM OF ART

〒869-0552 熊本県宇城市不知火町高良2352

TEL 0964-32-6222 FAX 0964-32-6223

<http://kumamoto-museum.net/shiranuhi/>

- JR: 松橋駅から右、道路沿いを南へ。2つめの踏切を渡り50m進むと左に国道266号線下の小さなトンネル。それを潜ると美術館。(徒歩8分)
- バス: 松合経由三角行き不知火支所前下車
- 車: 九州自動車道松橋インターより天草三角方面へ4km

